

あさみ会報

朝見まちづくり協議会
あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三夫
松阪市大宮町 209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52-0007
2010.8.28 発行
第 25 号

第4回夏まつい・夕涼み会 幼稚園夕涼み会・夏まつい・花火大会 500余名が参加！あさみの夏まつい盛大に開催！

平成22年8月8日(日) 18時から20時30分 朝見小学校で開催。4年目を迎える、夕涼み会・夏まついは天候が心配されたが、とことおりなく終了した。今回は、早朝より当日準備、夕方の天候悪化が心配だったが、みんなの気持ちが通じたのか、天候に恵まれ開催できた。18時より、恒例の朝見幼稚園・夕涼み会が開始され、松本園長、谷川PTA会長の挨拶。今日の日の為に園児みんなで作った、夜店を囲んでにぎやかに進行。「いらっしやい！いらっしやい！」と、元気な売子の子の音が響いた。親子で、家族で、友だちと、みんなで夕涼み会を楽しんだ。あと、まつりやぐらを囲んで踊りを披露した。7月に習った、しょうがい音頭踊りをお母さんたちと一緒に踊る。楽しい！楽しい夕涼み会の時間だった。19時より、田村夏まつり実行委員長の挨拶などがあり、松阪しょうがい保存会の皆様のリードで開始。本格的なしょうがい踊りの輪の中で、夏まついを楽しむ。音頭取りの方も4名が参加してもらい、自慢のものを披露する。祭りは楽し、踊りも楽し、夏祭りも楽し、人の賑わいは楽しと、これまでの最高の賑わいとなった。開催するきっかけは、協議会設立と幼稚園からの要望が地区の一大まつりとなって

来た。小さな提案が、地区全体へと響いて出来た「まつり」である。受付では、参加者全員が福引を行い、歓声がわいていた。夜店は、フランクフルト、焼きそば、フライドポテト、かき氷、飲み物の販売をする。夜店は、自治会長、寿会、PTA、協議会役員が担当した。夜店は大盛況で、沢山の人が行列となった。



夕涼み会・夜店 (いいものあたるかな?)



夕涼み会・開会式 (みんなで整列)



しょうがい保存会が参加。



どれを買おうかな?・夕涼み会



夕涼み会・夜店



フライドポテト、山中市長と販売



夜店・焼きそば販売



輪投げ、ねらったところへ・・・!



夕涼み会・みんなで輪になって・・・



習った、しょうがい踊り、上手に踊れました!



参加者は受付で福引



頑張る自治会長さん、飲み物・カキ氷販売、



受付・福引

いらっしやい、いらっしやい、可愛い呼び込み

災害時救出協力企業紹介 《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》 (大宮田) 茂谷工務店・珍田木材有限公司・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・株式会社伊勢クレーン・荒木田製材所・中尾木材有限公司・株式会社ミック・鍛冶倉建設有限公司・さくらテラス (古井) 有限会社松井工務店・神産業有限公司・エムエフマツモト有限公司・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木為郎農産・尚橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限公司・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

第5回淡水魚保全シンポジウム三重県明和町大会に参加 秋篠宮さまが「朝見・さかな救出大作戦」の活動を見学されました



淡水魚保全シンポジウム三重県明和町大会 水辺へのやさしい関わり方を求めて

朝見まちづくり協議会と朝見小学校が実施しました昨年10月「さかな救出大作戦」本年5月に実施の「さかな放流」の活動が高く評価され、ポスター発表の依頼を受け参加することになりました。

開催日 平成22年8月5日(木) 13:00~17:00

会場 明和町中央公民館(明和町大字馬之上944-6) 電話 0596-52-7132

主催 明和町大会実行委員会 祇川環境美化推進協議会 淡水魚保全研究会 三重県 明和町

共催 (財)自治総合センター NPO法人流域環境保全ネットワーク

後援 国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 環境省中部環境事務所 農林水産省東海農政局三重農政事務所

多気版

祇川の生物調査報告

夕刊三重より多紀版で模様を報道。

明和町で第5回淡水魚保全シンポジウム開催。

平成22年8月5日(木) 13時~17時 明和町中央公民館にて開催された。明和町大会テーマ 小河川における淡水魚の実態と課題シンポジウムでは、開会挨拶、《第一部》基調講演「タイの水田環境を巡る自然誌―魚を中心として」(フラチャイ・ムシカシトーン博士)

《第二部》話題提供 1.ネコギのすむ川 生息場所特性に基づき再導入河川の評価と場の整備(佐川 志朗 土木研究所自然共生研究センター) 2.「ヒナモロコ」の保全―地域、行政、研究者が一体となって―(小早川 みどり 九州大学)

3.「祇川の環境美化保全活動について」(森島 啓之 祇川環境美化推進協議会) 4.「わたしたちの祇川」町立音宮小学校5年生のみなさん)

《第三部》ポスター発表一冊目に朝見小学校が制作したポスター「魚救出大作戦!」*魚救出大作戦と銘打ったポスターを三年生の皆さんが手作りして掲示。*昨年10月に救出作戦をした2年生(当時)2名が説明役で参加した。

《第四部》パネルディスカッション「生物の保全と地域住民との合意形成」質問では、朝見地区の豊かな自然と水生生物の保全には豊かな水源確保が課題であると質問させてもらった。《講評と御礼》多紀保彦(淡水魚保全研究会)の閉会の辞。

*ポスターの前で丁寧に活動の様子を説明。
*秋篠宮様が会員として参加された、ポスター展示の前で朝見・魚救出大作戦の説明を聞かれた。2番目に皆川明子(農研機構農村工学研究所)田んぼに魚?稲作とむすびつけた魚たちのくらし。*朝見地区の水田環境の観察をしてきた皆川氏が作成。*朝見地区の自然豊かな中で水生生物が繁殖、生息している様子を展示。◎ポスター展示は37点が掲示された。



朝見地区・田んぼと水生生物

ポスター展示を説明する

水の恵みとゆくえ

くらしと自然の関わりから考えてみよう!

平成22年度 三重県立博物館 移動展示 松阪会場

飛鳥・奈良時代からの条里制(碁盤の目)水田の区割りが残る朝見地区の自然



現在の風景 ↑上七見町 ↓下七見町



今回の展示では、古代から整備された条里地割(方眼状の土地区画)の田んぼや水路。そのような環境下で生息する生き物や魚類の生態を紹介して、自然への人間の関わりを考えたいとして開催された。特に朝見地区の自然環境・条里制の地割やその環境など貴重な写真を用いて紹介されていた。

目次

ごあいさつ

序章 ようこそ!平野の自然とくらしへ。第一章 900年前の台風と現代の洪水。第二章 田んぼと水路のできたと自然。第一節 平野の開墾が始まる。第二節 田んぼを潤す水の流れ。第三節 素掘りの農業用水の自然。第四節 圃場整備事業後の水路の自然。第三章 河畔川の残る川と自然。第一節 祇川とは。第二節 河畔川の生きもの。第三節 祇川の水の中での生きもの。第四章 これからの平野の自然との関わり方。第一節 祇川の環境保全。第二節 環境配慮型の圃場整備。エピソード 伊勢平野と海のつながり。(発行パンフから抜粋) 展示会は8月22日に終了しました。



(河川に生息するトンボ・和屋町)



(パンフから 立田町全景)



朝見地区航空写真



朝見の田植え風景